



ポーポキは、年末年始を楽しもうと思っています。みなさまにも安全で元気で2013を終えて、良い年をお迎えください！

Popoki's Hot News!



ポーポキのピース・ブック3！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』の出版準備をすすめています！3月に出る予定です。ronniandpopoki@gmail.com で皆さまからのご注文をお待ちしています！

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの さとにゃん から届いた平和：

「年賀状。年に一度、全ての友人の顔を思い出す幸せ。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



100回目のポーポキ通信！

おかげさまで、今号は100回目のポーポキ通信です。正直なところ、ときどき自分でもなぜこんなに毎月出すかと思うことがありますが、みなさまからのコメントを受けて、また出したくなります。ありがとうございます！来年もよろしく願いいたします。



ぼくのFB頁ができました!!! ぜひ観てくださいね！

www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Project ポーポキピースプロジェクト/1384738958444817

いつもご協力、ありがとうございます！

『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』

(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。





ポーポキの2013年！

- 1 月 阪神・淡路大震災展に参加(神戸市)
- 2 月 岩手県大槌町でポーポキ友情物語展
ポーポキのミニ平和映画祭(神戸)
- 3 月 ポーポキ at 兵庫県ロータリー(神戸)
ポーポキの3.11 (仙台)
ポーポキ at ロータリー(RYLA) (余島)
ポーポキ at 国際学学会(ISA) (アメリカ)
- 4 月 しんにゃん歓迎ワークショップ(神戸)
ポーポキ at 9 条会議(金沢)
- 5 月 ポーポキ at ロータリー・インターナショナル(広島)
ポーポキ at 広島女学院(広島)
ポーポキ at 畿央大学<奈良県>
- 6 月 ポーポキ at 灘チャレンジ(神戸)
ポーポキ at 子どもの里(大阪)
ポーポキ at 広島女学院(広島)
- 7 月 ポーポキ at さかもと旅館(石川県)
ポーポキ at 大阪弁護士会(大阪)
- 8 月 ポーポキの8.6 シャドー&スカイプ(神戸)
ポーポキ at 国際理解教育・開発教育セミナー(神戸)
ポーポキ in 大槌町 (岩手県)
- 9 月 ポーポキ in グアハン/グアム(グアハン)
- 10 月 ポーポキ at 九条国際会議2013(大阪)
ポーポキ at 9 条世界会議2013(大阪)
ポーポキ at 網干高校 (兵庫県)
- 11 月 ポーポキの平和と健康イベント=兵庫医療大学(神戸)
- 12 月 ポーポキ友情物語 in 大槌町 (岩手県)
ポーポキ at 神戸大学男女共同参画推進室国際会議
ポーポキ at ヒューマンライツナウ関西グループ5周年(大阪)

来年もよろしくお願いいたします！
良いお年をお迎えください！



健康って なに色？ ー兵庫医療大学 地域交流プロジェクトー
11月16日(土)

はやしにゃん



神戸マラソンを翌日に控えたさわやかな秋の土曜日、ポートアイランドにある兵庫医療大学で、小学1年生からお年寄りまで、幅広い年代の方々と健康と平和について考え、感じるワークショップを持ちました。硬い表情でにゃんたちの『ポーポキ友情物語』の朗読を聞いていた参加者たちも、ポガがはじまって、隣の人のひざに気恥ずかしそうにさわったりするうちに顔が和らぎ出しました。ワークショップの班分け

に動物の名前を使うことになり、子どもたちがその動物の踊りをみんなの前で披露、みんなもいっしょになってゾウやチーターやサルの踊りをすると、もっと雰囲気は打ち解けました。

いろいろな絵を見てそれが「健康(元気)」「平和」のどちらにあたるかを考えるワークでは、同じ絵を見ても、ひとそれぞれ感じ方が違うことが、対話をはずませました。健康や平和についての感覚を豊かにした後は、大きな「ピース・マップ」をつくるイメージづくりのために、外に出て風や空気、光、ひと、風景のなかから「健康(元気)」「平和」を探す散歩に出ました。私は海辺を歩き、太刀魚が釣れるのをまつ釣り人に話を聞き、す



っかり班の人々と釣りの話に夢中になってしまいました。そんな釣りが楽しめる時間があり、気持ちがあり、空間があることは平和だな、健康だなと感じ、そういう「こと」や「もの」を大切にすることを「ピース・マップ」に盛り込もうと私の班の人たちは考えました。マップを作る過程で、健康や平和を実現するときに、廃棄物など一見平和や健康には結びつかないものをきちんと見つめなければならないことを、マップに書き込まなければならないと私たちの班では考えました。俯瞰する視点をマップづくりは引き出してくれます。

個人的なことですが、この日私は小学 1 年生の娘を連れて参加しました。子どもたちの参加に、にゃんたちがとても細やかな心配りをしている(親以上に!)ことを知り、子どもだけでなく、お年寄りやさまざまな参加者へのにゃんたちの心配りの繊細さに、初参加の私も勉強させられました。そういった細やかな配慮の結果、多彩な年代層の参加者がうちとけあった点は、東日本大震災被災地でのボランティアの手の届きにくい人々(独居中高年男性など)へのアプローチに、とても示唆深いものだったと思います。

ところで、絵を描くのに苦手意識を持つ私の娘は、マップづくりでネコの絵が思い通りに描けなかったことがこの日のほろ苦い思い出で、家に帰った後もずっとネコの絵を描き続けていました。「にゃん」と鳴くネコの絵のカードをかなり後になって私に贈ってくれました。ゾウの踊りを披露して「受けた」ことも嬉しかったようで、ずっとゾウの踊りをしていました。大人たちには思いもよらないところで、子どもにとって、ポーポキの出来事が日々を送る心のちょっとした足場になるのだと思いました。





* ポーポキのインタビュー *

☆ 私たちはグアムに行ってきました～☆

～海外実習 in グアム September 8日～17日～
スザンカにゃん

先月、ポーポキのお友達アスタにゃんに海外実習の目的、学んだ事について詳しく教えてもらって、そして We are Guahan の Cara さんとのインタビューも紹介してもらいましたが…。
実は、他にも、色々な方とお会いできて、色々なことを体験しましたね *

センちゃんの思い出に残ったのは～？



私は、高校生たちにポーポキ・ピース・プロジェクトを伝える時に学生たちの真剣な顔が一番印象深かったです。

本当ですね。Southern High School でのみんなは、ずっと丁寧に聞いてくれましたね。

ポーポキの紹介も、読み聞かせも。
後半にグループに分かれて、「平和に必要なのは～？」のカードゲームにも積極的に参加してくれました。
一人ひとり、意見が少し違っていて、感性も豊かで～とても勉強になりましたね。
ほくも楽しかったです。英語が少し難しかったけど…

てっちゃんもよく頑張って、英語で説明していましたね～
😊😊



スザンカは、一番思い出に残っているのはどういうときですか？

私は、グアム大学の Michael Lujan Bevacqua 先生が、チャモロの古代村「Pagat」に連れて行ってくれた時です。

Pagat は自然がとても豊かで、数々の遺跡が残っていて、
なんだか…神秘的な場所でしたね。

うん。Michael 先生に、ここでチャモロの先祖のスピリットを感じられる場所だと教えてもらいました。



写真：昔の杵

それに、Pagat の自然の音は、今まで聞いたことがない不思議な音でした。空気もよかったし…
僕は、海の香いを覚えています。

そう！ Pagat の緑を通れば、目の前できれ〜〜いな、青〜〜い海が広がっていました。



泳いでみたいな〜泳ぎたいな。でも、岩から飛び込むのは危ないよ。

しかし、チャモロの人々はよくこういう素敵な場所を選びましたね。豊かな森もあり、海もあり、大洞窟もありましたね。それは、台風などの災害のときにも、使われていたみたいです。そう～大洞窟の中で隠れることができました。水も美味しかったみたいですし、私たちも入って、大洞窟にあった小さな湖で泳ぎましたね。人生で初めての体験でしたが～冷たかったけど、綺麗な水だったね～昔はもっと、綺麗だったのだろうな～😊😊

しかし、こんなに歴史のあるゲアムの人々にとって大切な場所は・・・
米軍の「射撃練習場」にならなくてよかったですね。よかったです！よかったです！

ほくも、よかったと思います。え？ポーポキがいたの？もちろんいたよぉ～😊😊😊

また、いつか来られたらいいな～。
Michael 先生、ありがとうございました。チャモロ族についてたくさん学ぶことができました～。
また、Southern High School のKranz Ward 先生、Kranz-Kushima Kayoko 先生、
学生たちの皆にもありがとうございました。一緒に時間を過ごせて、良かったです。

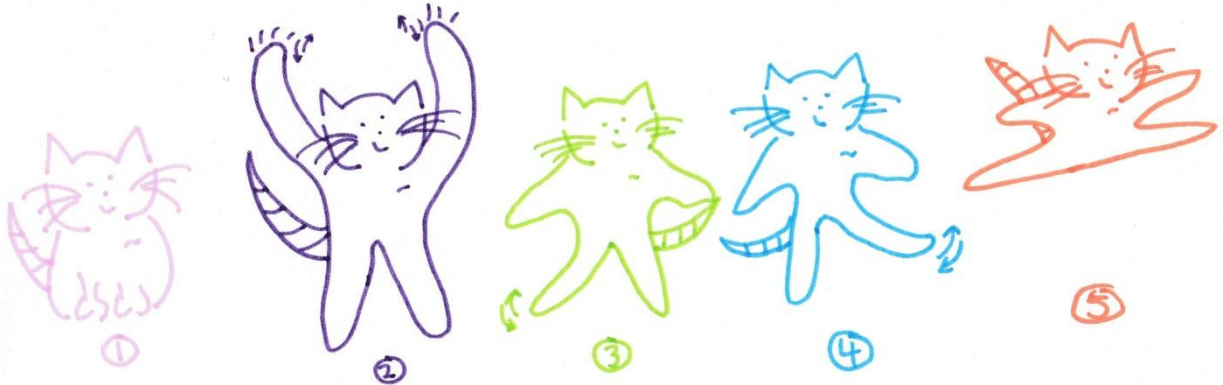
～HAFA ADAI～



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 67

今月のテーマはリラックス！



- 1.いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
- 2.では、立って、腕を頭の上に伸ばします。指を大きく開いたり閉じたりしてみましょう。
- 3.次は、左足で立って、右足を上げます。足首を振ったり、回したりしてみましょう。反対回りもしてね。
- 4.今度は、右足で立って、左足をあげて、足首を振ったり、回したり！
- 5.できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会 1月21日(火) 神戸YMCA 19:00～ Rm. 304

2014.1.14-19 1.17 展にポーポキ友情物語 神戸市役所 2階市民ギャラリー

2014.2.22 ポーポキのミニ平和映画展！ 神戸YMCA 301 13:00～16:00

ポーポキの友だちからのご案内

1.5～1.17 加川広重 巨大絵画が繋ぐ東北と神戸 No.2 詳しくは下記のリンク：

<http://gallery-shimada.com/kagawa/> 13日間 (1月6日(月)・14日(火)の休館日は除く。) 会場：
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO) KIITO ホール(1F) 〒651-0082 神戸市中央区小野浜町
1-4 開館時間：11:00～19:00(最終日の公開は15:00まで) TEL:078-325-2201 FAX:078-325-2230
Email:info@kiito.jp

- ◆ 特に 1.11 ダンス・パフォーマンス「春の祭典」(ストラヴィンスキー作曲)13:00～13:40 &
「3.11 から 1.17 へ ～若者たちが語り合う震災と未来～」 14:00～17:00 ロニー・アレキサンダー、村井雅清(被災地 NGO 協働センター代表)、西垣千春(神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授)、杉浦 健(関西学院大学ヒューマンサービスセンター事務局長)

- ◆ 12日 福島トーク KIITO

Popoki in the News

◆ ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22 面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4 面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO: 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Dachenchong, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに…」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って…考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面



ポーポキはグアムの問題だけではなく、オキナワの問題も考えています。以下は、ポーポキの友だち、まさにやんから届いたアピール！ぜひ、読んで、サイトを観て、行動を考えてください。



沖縄の高江ヘリパッド建設阻止行動支援のお願い[緊急]

東村 高江は、沖縄県の北部、ヤンバルとよばれる亜熱帯森林のなかにある約 160 人の住民が暮らす小さな集落です。この集落をかこむように米軍のヘリパッド(ヘリコプター着陸帯)を6つ作る工事が、はじまっています。高江は米軍のジャングル訓練センターの真横にあります、これでは訓練センターの中に高江があるかのようになります。高江では昼夜を問わず、米軍ヘリが飛びます。ヘリパッドが増設され、これ以上ヘリが飛んだら、しかも新型機オスプレイが飛んだら、高江に人が住めなくなる！と考えた高江の住民が、『自分の家で普通に暮らすため』に 2007 年 7 月から工事現場の入り口で、非暴力の抗議 説得活動として座り込みを始めました。(YANBARU TAKAE ホームページより)

高江は、今、日本で唯一米軍による軍事基地化を「阻止」(単なる反対ではなく)すべく 24 時間体制で闘っているところです。闘いは 7 年間に及んでいます。本土のマスコミからはほとんど無視され続けてきました。政府は、住民運動を弾圧するため、座り込みに参加する住民(参加していない 7 歳の子どもまで)を「通行妨害」として、いわば「見せしめ」「おどし」のために訴えるという暴挙までしました。この裁判は現在最高裁に係属中です。こうした市民参加を阻止・弾圧すべく「国が市民を訴える」裁判を SLAPP 裁判(Strategic Lawsuit against Public Participation＝市民参加を阻止するための戦略的訴訟)といい、米国では多くの州で禁止されています。市民参加を脅しによって抑え込もうという、民主主義国家にあるまじき訴訟です。この訴訟は、かつての治安維持法の復活ともいえる悪法、特定秘密保護法が施行される以前に起こされたものであり、今後全国各地でさまざまな市民運動を抑え込むための「見せしめ」訴訟が起こされることが予想されます。特定秘密保護法の目的は、まさに国民の知る権利を否定して、「戦争をする国」にするために市民運動を抑圧することにあり、廃止させなければなりません。

この国の現状を知ってください。この 7 年間、高江で昼夜を問わず国家権力と闘っている皆さんの実情をぜひ知ってください。韓国、米国、カナダ、フランスなどからも高江のことを知った若い人たちが座り込みに加わっています。しかし、24 時間体制での基地ゲート前での阻止行動、工事車両の見はりなど、多くの人の支援が必要です。また、間接的にも皆さんができるさまざまな支援活動があります。高江の皆さんの闘いは、日本という国の民主主義そのもの、私たち一人ひとりの生き方を痛烈に問うています。

「やんばる高江」の現状については以下のサイトをご覧ください。皆さんが支援することができるさまざまな手段も載っています：<http://okinawa-takae.tumblr.com/>
また、国家権力の暴虐、それと闘う高江の人々を描いたドキュメンタリー映画「標的の村」については、以下のサイトをご覧ください：<http://www.hyoteki.com/>

五十嵐正博(金沢大学・神戸大学名誉教授)



私にとってのポーポキ

まりえにゃん

それは思いやりー相手(友だち)のことを考えること一だと思います。

この1年ポーポキ(私のポーポキはいつも、見晴らしのいい私の肩にのっけて、平和センサーであるしっぽを動かしています)をつれて、イギリスはノーリッチというところで開発援助の勉強をしました。

1年間の留学を通し、特に印象に残っていること、そして私の経験がより実りあるものになったと感じることは、開発援助という学問を通し、相手のことをよく考えるようになったことです。

今までも考えるようにはしていましたが、これまでイギリスにいたときほど、さまざまなバックグラウンドをもつ人に関わることがなかったため、今回ドアが大きく開かれたような気がします。

一言で思いやりとは簡単に聞こえますが、そうそう簡単にできるものではありません。

たとえば友だちから、「地震ってどんなの?」という質問をされたことがあります。みなさんはどう答えるでしょうか。

2013年3月11日に、私の在籍していた大学で、東日本大震災に関するイベントを行いました(イベントの様子はポーポキニュースレターの92号をみてくださいね)。テーマは「Thank you from Japan」(日本からありがとう)とし、東日本大震災の際にいただいた世界中の人からの援助に対して感謝の気持ちを表すこと、被災地のボランティア活動の写真を展示することによって東日本大震災を風化させることなく、後世に引き継ぐということ、さらには、被害にあわれた方々からのメッセージをスライドにまとめ地震の被害などを知ってもらうことでした。

さきほどの質問、「地震ってどんなの?」というのがイベントで一番多い質問でした。というのは、来場してくださった方々は、開発援助を学んでいる生徒だけではなく、他学部の学生や先生、地域の人々といった面々だったため、地震をそもそも経験したことのない方が多く、日本でとんでもない事態が起きたのは知っているが実際にどんな気持ちだったのか知りたいという方がたくさんきてくださいました。

そのような方々は、想像力だけが頼りで、写真や展示した被災地の方々へのインタビューに釘付けでした。そしてようやく目を離し、「本当にこのような凄まじいことが起こったんだね」というコメントを口々に言っておられました。ましてや福島原子力発電所の事件のことは、情報が限られている分想像することはさらに難しいことだと思います。

私は先ほどの質問に対して、どのように答えたのかというと、私が阪神淡路大震災のときに感じた恐ろしさを伝えました。実際に自分の身体で大きな、しかも縦揺れの地震を経験した思い出は今も

忘れたことはありません。私は覚えていることは、揺れを感じた直後、本当にゴジラが家の周りを歩いているのだと思い、顔をあげました。顔を上げ、窓を見ると、本当にゴジラの顔が見えるのではないかと思って。でもこわくて窓の近くに行くことはできませんでした。子どもながらに横にあったピアノを見て、ピアノが頭の上に倒れてこなくてよかったと胸をなでおろした記憶があります。そして、家族で一つに固まって地震がおさまるのを待っているときは、暖房をつけられず寒くて震えていました。においはトイレのにおいが記憶に残っています。なぜならばドアを閉めると二度とあけられなくなるかもしれないので、開けていたためです。

このようなことを説明すると、聞いていた友だちは必死に頭の中で再現をしようとして、外は明るかったとかさまざまな質問をしました。

ここで感じたこと、それはその人が何を感じたのかということ、相手の(あなたの友だちの)考えていることをわかって、またわかりたいと思う気持ちが、誰かと共に生きる上で大切なんだと感じたことです。そのために重要なのは自分の身体で感じたことを、シェアすること。

これを機に、いろいろ考えるようになり、たとえばパーティをする際に、ディナーを日没後にしたときには、ラマダンを行っている私の友だちはとても喜んでいました。

このように友だちのことを自然に考えることのできる人間一思いやりのある人でありたいとつねに思っています。



写真:集まればいつも開発援助の話は何時間もしてしまう仲間たち

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!